

# 令和7年3月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和7年3月19日（水） 午後3時00分～午後4時00分
- 2 場 所 氷見市役所 全員協議会室
- 3 出席者 有島洋之教育長、湖東政俊職務代理者、關野洋香委員、圓山留美委員、佐原孝信委員
- 4 職務のため出席した事務局員  
天坂教育次長、西参事、尾山学校教育課長、小谷文化振興課長（兼博物館長）、西島スポーツ振興課長、坂下学校給食センター所長、長谷川図書館長、大谷内学校教育課長補佐、田邊スポーツ振興課長補佐
- 5 協議事項  
なし
- 6 会議内容  
(1) 教育長の挨拶  
(2) 教育長の報告

令和7年2月28日（金）から令和7年3月19日（水）までの教育委員会所管事項を有島教育長が報告した。

3月市議会定例会の質問について各担当課長が説明した。

## [質疑応答]

### ・部活の地域移行について

- |       |   |
|-------|---|
| 委 員   | 国の実証事業は令和7年度までとなっているが、地域移行が増えていく中で、8年度以降の予算の見通しを教えてください。  |
| 事 務 局 | 今のところ、実証事業が継続されるという国からの通知はない。   |
| 委 員   | 将来的に受益者負担ということで、生徒からの集金もあるのか。   |
| 事 務 局 | 昨年12月に国が公表した中間とりまとめによると、国県市の公費負担も必要だということは書いてある。これまでのように国が多くとは明記されておらず、公費負担と受益者負担の両方で、というとりまとめ報告となっている。今後、国の方からこういった形の内容でその部分が示されるか、引き続き注視していきたいと思っている。 |
| 事 務 局 | 部活動指導員やスポーツエキスパートも活用しながら、同時に土日の地域移行も地   |

域の指導者と連携しながら進めていきたいと思っている。  
今年も部活動のあり方検討会を開き、平日は部活動、土日の地域移行ということで了解はいただいている。中学校長とも連携して、これまで果たしてきた部活動の役割、意義を踏まえて、平日の部活動はこれまでどおり継続し、休日については地域移行を進め、教員の負担を少しでも減らしていきたいと思っている。

#### ・生きづらさをサポートする「居場所」づくりについて

委員 | フリースクールとの連携とあるが、どこにできたのか。  
事務局 | 稲積地区にフリースクールができた。もともと学習塾で、学習指導もしている。

#### ・ICT教育の取組について

委員 | 遠隔で合同授業をされて、授業だから交流をもっているのか、それが学校の枠を超えて交流をもつきっかけになっているのか教えていただきたい。  
事務局 | 北部中学校区の小規模校、灘浦・海峰・上庄小学校の合同授業を始めたのは、中1ギャップを解消するためである。ICT学習だけでは子供たちの交流も深まらないので、ハイブリッド型にし、宿泊学習も行っている。3校の子供たちが仲良くなり中学校になったら友達関係でつながっていきこうというのがスタート時からのねらいである。今年度は富山大学のICTの先生や大学院生にも入ってもらい、月1回どの学年にも3校が交流するようなICT授業の他、対面した交流も実施している。  
委員 | 学校訪問に行った時に、3校の合同授業を見たが、大変よかった。それがきっかけで子供たちも宿泊学習も協力して友達の幅も広がるのかなと思う。同じ校区なので大変効果があるのではないかなと思う。  
もしできれば、違う校区でもできれば、ふるさと教育でそれぞれの地域の違いを話し合ったりしながら氷見市全体の交流を深めていくことにつながればよいと思って見ていた。

#### ・ICT教育の環境整備について

委員 | ICT授業時に回線が途切れてしまうのは、もう少しスムーズにならないか。  
事務局 | 実際、日中の授業ではトラブルはほとんど起きないが、教室の中に人がたくさん入るとネット環境が影響したりするというのはよく言われる。容量の関係なのか通信的な関係なのか分からないが、改善できるようにしていく。  
事務局 | いろんなところでそういうことが話題になって、先生方が携帯電話を持っていることで、何かそれが引っかけることがあると富山大学の先生から聞いたことがある。そんな時に備えて、つながらなかった時にどうするかも研修の中で深めていかなくてはならないということも話題になっている。

(3) 4月の行事予定を各所属長がそれぞれ説明した。

(4) 5月の定例教育委員会議の開催日時を5月29日(木)午後3時に決定した。

7 閉 会 午後4時00分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員